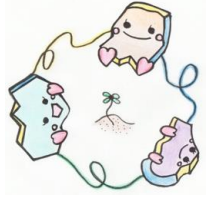


東北復興 PSW にゆうす

被災地における障害福祉事業所の販路拡大支援事業のご紹介

東日本大震災から5年が経過しました。いまでも岩手・宮城・福島では震災に関連するニュースを毎日目にします。復興に向けた歩みが進む一方、その速度と受け止め方はそれぞれの状況によって多様であることを改めて感じます。本協会では2015年9月よりウェブサイトにて被災地の事業所を応援する標記事業を行っています。今回は同事業に参加された仙台市の「パル三居沢」と「パルいずみ」さんからお話を伺いましたので、その様子を中心にお届けします。



【これまでの歩みを教えてください】

パル三居沢（就労継続支援B型事業所）とパルいずみ（就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所）は、社会福祉法人緑仙会が運営している事業所です。これまで、仙台市における精神障害を抱えた方の自立や社会参加を目的とした事業を進めてきました。

震災により、事業の大部分が一時停止を余儀なくされましたが、地域の皆様や関係機関の方々のご協力をいただき、法人内でも一日も早い事業再開にむけて取り組み、パル三居沢、パルいずみでは3週間後の2011年4月1日に事業を再開することができました。その後も利用者、職員ともに励ましあいながら活動を進め、通常の事業を行えるようになっていきました。これらのことは、全国の皆様のご支援があったからこそと、大変感謝しています。あらためてお礼申し上げます。

【震災前後で変わったことはありますか】

震災後には、全国の皆様にご温かい目を向けていただき、自主製品販売や新規の作業の受注など多方面でご支援をいただきました。新しいつながりを持つことができ、大きな活動への励みになっています。また、震災の体験を通して、自分たちがいるこの場所に対する思いが強くなったことを感じています。震災が一人ひとりに与えた影響には違いはありますが、同じ体験をした仲間としての結びつきは確実に強くなったのではないかと思います。これから、少しずつでも事業所の活動によって思いを形にしていながら、皆様のご支援に報いていきたいと考えています。

的に参加し、地域に開かれた事業所を目指しています。下請作業では丁寧で正確な作業を心がけ、社会に貢献していることが利用者のやりがいにもつながっています。

パルいずみ

（就労移行支援事業）

利用者が「働き続けられるようになること」を目標に、一人ひとりの状況や希望に合わせた支援プログラムを実施しています。職場定着にも力を入れて、継続したアフターフォローを実施しており、2015年度は2名が採用に至っています。

（就労継続支援B型）

仙土工産をコンセプトに、ビーズを使用したストラップを制作しており、販売会の他、JR仙台駅構内や仙台空港等でも販売しています。また、工賃向上を目指し、今年度は下請作業の封入作業にも力を入れています。大きな受注数をやり遂げた達成感を励みに、利用者、職員が一丸となって取り組んでいます。

【おすすめの商品を教えてください】

パル三居沢はキャンドル、手芸製品を制作しています。おすすめは、仙台の名物をかたどった「ずんだ餅キャンドル」。本物と見まごうほどの質感です。

パルいずみは、七夕すとらっぷ、杜の都のケヤキの精ストラップがおすすめです。七夕すとらっぷは震災後に、復興支援の一環で全国の皆様からご注文をいただきました。その縁がきっかけで、毎年夏まつりの景品にとご注文くださる方もいらっしゃいます。

【現在取り組んでいる活動について教えてください】

パル三居沢

作業としては、自主製品制作・下請作業・外部作業（清掃・除草）等に取り組んでいます。イベントにも積極



ずんだ餅キャンドル



七夕すとらっぷ



活動風景

【全国の仲間へ一言】

全国の皆様の温かい励ましが、両事業所の活動の原動力になっています。本当にありがとうございます。震災の経験を経て、私たちが感じている最も大きなことは、つながりの大切さやありがたさです。つらい時、苦しい時に支えがあることで、もう一度前を向くことができたのだと思います。一つひとつの手作りの商品が、新しいつながりを作っていけるように、こころを込めて制作しています。ぜひ、気になる商品がありましたら、お問い合わせください。お待ちしております。

【今後の抱負をお願いします】

今後も、一つひとつの活動に丁寧に取り組み、利用者一人ひとりに対する支援の質の向上を図り、希望ややりがいを持った生活を続けていけるように取り組んでいきたいと考えています。また、地域の事業所として、地域に貢献できるようこれからも一步一步、確実に歩みを進めていきます。



左がパル三居沢、
右がパルいずみで
す。ぜひWEBサイ
トをチェックして
ね(本協会WEBサ
イトから見るこ
とができます)



被災地における障害福祉事業所の販路拡大支援について

東北地方を中心として、復興状況はまだ道半ばな状況と言えます。物販をしている障害福祉サービス事業所の販路拡大も、この状況に比例して困難を抱えているところもあるかと思えます。つきましては、本協会WEBサイトにおいて、障害福祉サービス事業所の活用をピーアールするとともに、希望する事業所のWEBサイトのリンクを貼る販路拡大支援のご提案を始めました。本協会の活動を通じて、皆さまの事業所のさらなる復興へ寄与できれば幸いです。詳しくは本協会の東日本大震災復興支援情報サイト(下記URL参照)をご覧ください。

★今年の全国大会でも販売ブースを設置します★

第52回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第15回日本精神保健福祉士学会学術集会(山口県)において、岩手・宮城・福島の事業所製品の物販を行う予定です。そこで当日販売のお手伝いをしていただける方を募集します。詳しくは協会WEBサイトをご覧ください。**2016年4月中旬頃より案内開始予定です!**

★皆さんからのメッセージを募集します★ 本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しています。全国どなたからのメッセージでも構いません。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。本紙面や協会WEBサイトにてご紹介させていただきます(原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載しません)。メッセージ投稿は東日本大震災復興支援委員会へのFAXもしくはE-mailにてお願いします。

E-mail: office@japsw.or.jp * 題名に「PSWにゆうすについて」とご記入をお願いします。

第21号 2016年3月15日発行

発行: 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

URL: <http://www.japsw.or.jp/> ★東日本大震災復興支援サイト <http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>